

第 124 回横浜市都市美対策審議会 報告資料

都市デザインの広報について

平成 29 年度 ビジョン等広報普及活動 実績（一部予定）

★：実績 ◎：予定

1 発行物を作成して発刊

★都市デザインビジョン増刷・配布

本編：0 部（市民情報室販売用 H29 年度 3 冊販売 累計 20 冊）

概略版：500 部（来庁者・イベント時配布等 約 200 部）

★DLmarket 配信

冊子購入数：0 ダウンロード数：日 18 英 4 （2 月 8 日現在）

横浜の都市デザイン日英、日本大通りマップ、歴史セミナー報告書、まち普請記録等も配信中。

モデル事業全体 延購入数：68 延ダウンロード数：385 （2 月 8 日現在）

★都市デザインリーフレット増刷

3000 部（来庁者、イベント参加者、関係者等配布用）

2 都市デザインに触れ深める機会づくり ※第 123 回都市美以降のみ

★出張講座 ※抜粋。

10 月 12 日 麻布高校 11 名聴講

11 月 14 日 韓国ソウル市社会的経済支援センター 12 名聴講

11 月 21 日 ソウル大学 12 名聴講

12 月 4 日 光州国際都市デザインフォーラム

1 月 17 日 横浜市大 30 名程度聴講

2 月 15 日 世界銀行テクニカルディープダイブ(教育プログラム) まち歩き

★都市デザイン研究会 「エリアをプランディングする～松戸の事例を通して～」

2 月 1 日 @リスト本社 1 階 聴講者数 80 名程度 (UD 講座生含む)

寺井元一氏／まちづくりエイティブ株式会社

◎ 都市デザイン研究会 「ストック活用社会における公共の在り方・役割」

3 月 7 日 @開港記念会館 受講予定数 100 名程度 (UD 講座生含む)

佐々木晶二氏／元国土交通省国土交通政策研究所所長

★ 横浜市技術職員対象現場見学会 ※人事委員会主催

3 月 1 日 参加者予定数 30 名程度 (職員採用試験対象者向け)

◎ 横浜市新採用予定者向け都市デザインワークショップ

3 月 27 日 参加者予定数 36 名程度

3 市民の都市デザイン活動の支援

◎『OPEN MEETING！都市デザイン 郊外編 Area01:東山田準工業地域』

昨年度から継続して、住工混在のまちづくりの可能性について、地元団体の活動にも協力。都筑区も含めた活動に発展してきたためイベントとしての OPMT の実施は行わなかった。

企画・進行：岡部友彦／コトラボ合同会社 記録：東海大学富田研究室

共催：一般社団法人横浜もの・まち・ひとづくり

4 都市デザイン行政の強化（行政職員の育成）

★『局横断プロジェクト』

テーマ：ストック活用型開発手法の検討 事例・課題調査

開催時期：8月～2月 ※2か年で計画。来年度も実施予定。

参加職員：都市整備局内8課 15名

リーダー：野田 サブリーダー：三川（都市交通課） アドバイザー：梶山

★『アーバンデザイナー養成講座 H29』

テーマ：「まちのストックを活用したエリアプランディング」

開催時期：12月～3月 全8回

受講職員：36名（17区局） ファシリテーション職員：6名（都市整備局）

講師例：島原万丈氏／LIFULL HOMES 総研、林厚見氏／株式会社スピーカー、

鎌田千市氏／紫波町公民連携室長、他（都市デザイン研究会参照）

主催課：都市整備局都市デザイン室

★『テーマ型共創フロント事業「都市デザイン行政強化のための職員研修等における、ソーシャルネットワーキングサービスの活用実証実験』（府内 SNS 実証実験）』

内容：府内の職員相互コミュニケーションの活性化および情報漏洩防止のために府内用 SNS を共創フロント事業として試験導入。局横断プロジェクトやアーバンデザイナー養成講座等を実証実験の場として実施。

開催時期：10月～3月

共創先：日本マイクロソフト株式会社、ディスカバリーズ株式会社

事業課：都市整備局都市デザイン室

協力：政策局共創推進課、総務局しごと改革室、

利用者：UD 講座受講生、BP 関係都市整備局職員、都市デザイン室職員等

5 都市デザイン行政の海外輸出

★マレーシア・セベランプライ市への横浜・都市デザインのノウハウ移転

内容：セベランプライ市旧市街地であるブキットマタジャン地区の歴史を生かした都市デザインビジョンの作成を横浜市大、民間都市プランナーと共に JICA の草の根事業で行っている。（事業期間：平成 27 年 12 月～平成 30 年 12 月）

派遣：平成 30 年 2 月 5 日～8 日。横浜セベランプライ友好協会・横浜市立大学・専門家・国際局・都市整備局職員を派遣し、対象地区的アーバンデザインプラン及びガイドライン策定、マーケットの移転等について意見交換し今後の進め方を確認した。